

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和6年6月3日（月）

事務事業		水道企業会計管理事務		担当課	企業経営課	担当係	企業経営係	管理番号	41131	
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1	都市整備の行き届いたまちづくり	根拠法令 個別計画等	地方公営企業法					
	小項目	2	水の安定供給と下水処理の適正化							
	主要プロジェクト									
事業概要		水道事業の健全運営のため、水道事業会計における事務全般について執行管理を行うものである。								
目的 ※何のために		持続可能な水道事業運営を行うため。								
対象 ※誰・何を対象に		水道事業会計に係る事務全般								
手段 ※どのように		予算編成及び決算調製等の機会をとらえて、経営戦略の進捗管理及び総合的な見直しを行う。								
成果 ※何を求めるか		水道事業運営の健全化								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	1	保健衛生総務費	水道事業会計繰出金	79,708,238
本事業の 主な業務		・ 予算編成事務					・			
		・ 決算調製事務					・			
		・ 出納事務					・			
		・ 資産管理事務					・			
		・ 起債事務					・			
		・					・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画						
事業費	予算（現額）	192,728,000	79,709,000	5,282,000	121,013,000	
	決算額	192,727,488	79,708,238	0	0	
	財源内訳					
	国支出金	0	0	0	0	
	県支出金	163,000,000	0	0	0	
	地方債	24,000,000	0	0	0	
	他特定財源	0	0	0	0	
	一般財源	5,727,488	79,708,238	5,282,000	121,013,000	
人件費	従事職員数（人）	2.83	2.63	2.43	2.43	
	人件費相当試算※	22,270,847.00	21,066,734.00	20,316,987.00	20,316,987.00	
総事業費試算		214,998,335	100,774,972	25,598,987	141,329,987	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	経営戦略進捗管理実施回数	目標値	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		実績値		2.00	2.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年間 2 回（予算時、決算時） / 当該年度実績					
	実績値の算出式								
成果指標 1	経営戦略の見直しを実施した割合	目標値	%	-	-	-	-	-	-
		実績値		-	-	-			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			総合的な見直しの年度が未定のため目標値設定はないが、定期的に総合的な見直しを実施する / 経営戦略					
	実績値の算出式								
成果指標 2	当年度純利益の計上	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		実績値		100.00	0.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			当年度純利益を計上した場合は100であり、当年度純損失を計上した場合は0として表記					
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	決算調製時及び予算編成時に経営戦略の収支計画との乖離状況等を分析するなど、年2回の進捗管理を行った。また、現下の収支状況を反映させた今後の収支見通しを作成し、事業運営の動向について注視している。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	C	令和5年度は経営戦略の総合的な見直し（ローリング）を行う該当年度ではないが、定期的に収支状況の把握に努めている。また、令和5年度決算については、会計処理の見直しに伴う資産減耗費の増加により、一時的に当年度純損失を計上することとなった。
			評価者 企業経営係長 小林 史尚

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	建設改良費等の請負残を活用し、翌年度予定していた事業を前倒しするなど、柔軟な事業運営を行うことができた。また、公営企業会計システムの更新について、リプレイス契約とすることで機能面のアップや費用面の抑制を行い、効率的で効果的なシステム更新を図ることができた。
			評価者 企業経営係長 小林 史尚

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	水道企業会計管理事務	担当課	企業経営課	担当係	企業経営係	管理番号	41131
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		<p>本年度は、一時的に当年度純損失を計上することとなったが、内部留保資金・期末現金残高については、一定の水準を保っており、事業の持続可能性が著しく損なわれる状況にはない。一方、料金水準は全国平均を若干下回っており、経営に与える影響など、今後の動向を注視する必要がある。</p> <p>更なる運営基盤の強化及び経営の健全化に向けて、引き続き、経営戦略を基本に各種事業の着実な進捗を図る。</p>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	環境水道部次長兼企業経営課長 成瀬 哲也				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

区分	活動指標 1	指標名	経営戦略進捗管理実施回数																					
<table><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>令和4年度</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>2</td><td>0</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>2</td><td>0</td></tr><tr><td>令和8年度</td><td>2</td><td>0</td></tr><tr><td>令和9年度</td><td>2</td><td>0</td></tr></table>				年度	目標値	実績値	令和4年度	2	2	令和5年度	2	2	令和6年度	2	0	令和7年度	2	0	令和8年度	2	0	令和9年度	2	0
年度	目標値	実績値																						
令和4年度	2	2																						
令和5年度	2	2																						
令和6年度	2	0																						
令和7年度	2	0																						
令和8年度	2	0																						
令和9年度	2	0																						
区分	成果指標 1	指標名	経営戦略の見直しを実施した割合																					
<table><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>令和4年度</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>令和8年度</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>令和9年度</td><td>1</td><td>0</td></tr></table>				年度	目標値	実績値	令和4年度	1	0	令和5年度	1	0	令和6年度	1	0	令和7年度	1	0	令和8年度	1	0	令和9年度	1	0
年度	目標値	実績値																						
令和4年度	1	0																						
令和5年度	1	0																						
令和6年度	1	0																						
令和7年度	1	0																						
令和8年度	1	0																						
令和9年度	1	0																						